

# さまざまな時代の弦楽四重奏曲を聴く

2つのヴァイオリンとヴィオラ、チェロによる弦楽四重奏曲は、その均整のとれた響きから「交響曲のミニチュア」とも呼ばれ、多くの作曲家にとって欠かせないジャンルとなっていました。今回の芸術講座では、古典派、ロマン派、20世紀のそれぞれの時代に書かれた弦楽四重奏曲をお届けします。時代を超えて愛される、さまざまな弦楽四重奏曲の表情をお楽しみください。



七條めぐみ  
レクチャー

愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程およびパリ・ソルボンヌ大学博士課程修了。博士(音楽)/Docteur en musicologie(博士論文共同指導による授与)。現在、愛知県立芸術大学講師。専門は西洋音楽史、バロック音楽史、近代東アジアの音楽文化史。

## Program

- モーツァルト：弦楽四重奏曲 変ロ長調 K.589
- シューマン：弦楽四重奏曲第3番 イ長調 Op. 41-3
- ブリテン：弦楽四重奏曲第3番 Op. 94

2024 **7/13** [土] 15:00開演  
[14:30開場]

愛知県立芸術大学 室内楽ホール

入場無料 全席自由 事前予約不要  
(未就学児のご入場はご遠慮ください)



フェデリコ・アグスティニ  
ヴァイオリン

伊・トリエステ生まれ。16歳でデビュー。1986年から伝説的な「イ・ムジカ合奏団」のコンサートマスターを務める。またソリストとして世界のオーケストラから招聘され、室内楽奏者としても長年国際的な音楽祭などで活躍。独・トロツィンゲン、米・インディアナ、イーストマン各音大にて教鞭をとった後、現在、愛知県立芸術大学、及び洗足学園音楽大学の客員教授を務める。



花崎 淳生  
ヴァイオリン

京都市生まれ。東京藝術大学を経て大学院修了。1986年から87年にかけて、ドイツ、カールスルーエに留学。「古典四重奏団」として、97年村松賞、04年文化庁芸術大賞、07年同優秀賞、13年東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、16年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞。古典四重奏団メンバー。CD多数リリース。



桐山 建志  
ヴィオラ

東京藝術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール(山梨)第1位。1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。主にALMレーベルから多数のCDをリリース。愛知県立芸術大学教授。チェンバロの大塚直哉と共に「大江戸バロック」を主宰。



花崎 薫  
チェロ

東京藝術大学、ベルリン芸術大学卒業、長年にわたり新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者としてオーケストラを支えた。また2011~24年3月まで愛知県立芸術大学教授として後進の育成に携わる。現在、東京シンフォニエッタ、東京クライスアンサンブル、メンバー。2022年ベートーヴェン、チェロとピアノの為に作品全集CDをリリース。

お問合せ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

☎0561-76-2873

(受付時間 平日 9:00~17:30)

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分

●主催：愛知県立芸術大学 愛知県立芸術大学 ●企画：愛知県立芸術大学 社会連携センター



※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。